※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の音楽１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、確認課題（小テスト）で評価します。
・音楽の学習は、実践・実験を繰り返し、感性を磨いていくことにつながります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈し、それらの価値を考える。音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品 確認課題（小テスト）	観察 ワークシート 確認課題（小テスト）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌唱	教科書掲載のポピュラーソングなど	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	器楽	リズム課題 楽器演奏体験	○		○		a:楽器演奏に関心を持ち、楽器に触れ、音を奏でる学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	創作	五線譜 音符の種類と長さを学ぶ 写譜に取り組む	○		○		a:楽譜を構成する五線や音符に関心を持ち、それぞれの名称や機能を知覚する学習に主低的に取り組もうとしている。 c:音符の種類と長さを理解し、リズムや記譜の仕方など創作に必要な技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 確認課題
	鑑賞	ミュージカル作品他 古代～バロック時代の音楽史	○			○	a:舞台作品や音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、作品や演奏を解釈し価値を考える。	観察 ワークシート 確認課題

※令和３年度以前入学生用

2学期	歌唱	日本の唱歌	○	○	○		a:「日本の唱歌」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:歌のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、どのように歌うか、表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージを持って音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜等の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	器楽	キーボードやギター等の楽器を用い、楽器演奏に取り組む	○	○	○		a:楽器の基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・リズム、和音の特徴を知覚し、それらの働きが生みだす特質や雰囲気等を感受しながら表現を工夫している。 c:楽器を用い、音楽を表現するために必要な楽器奏法、読譜等の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 確認課題
	創作	旋律の創作	○	○	○		a:音楽の創作に関心を持ち、自ら旋律を創作する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感受しながら表現を工夫している。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 提出作品
	鑑賞	ミュージカル作品・オーケストラ曲他 オペラの世界 古典派～ロマン派の音楽史	○			○	a:舞台作品やオーケストラに関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、作品や演奏を解釈し価値を考える。	観察 ワークシート 確認課題

※令和３年度以前入学生用

３学期	歌唱	世界の歌	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:歌のリズム、速度、旋律など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、どのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞	邦人作曲家の音楽	○			○	a:我が国の作曲家や伝統音楽に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国の作曲家による作品や伝統音楽を鑑賞し、それらの価値を考える。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。